

## 令和5年度 第2回

### 鞍手町立小学校の統合に向けたあり方検討委員会

令和5年6月15日  
鞍手町中央公民館 第1研修室

#### 1. 開会

#### 2. 議事

- (1) 第1回 検討委員会後の町長への報告結果について
- (2) 鞍手町立小学校統合基本計画（案）に対するパブリック・コメントの実施結果について
- (3) 鞍手町立小学校の統合に向けたあり方検討委員会から鞍手町教育委員会への最終提言（案）について

#### 3. その他

#### 4. 閉会

#### 配布資料

- 【資料1】鞍手町立小学校統合基本計画（案）に対するパブリック・コメント実施結果について
- 【資料2】鞍手町立小学校統合基本計画（案）の修正箇所について
- 【資料3】鞍手町立小学校の統合に向けたあり方検討委員会から鞍手町教育委員会への最終提言（案）

#### 4. 鞍手町立小学校統合基本計画（案）へのパブリック・コメントの実施結果

##### (1) 意見募集の概要について

募集期間	・令和5年5月17日（水）～令和5年6月6日（火）
周知方法	・町ホームページ ・公共施設（役場庁舎2箇所、中央公民館、総合福祉センター）へのポスター掲示及び同施設での閲覧
提出方法	・指定様式での提出（窓口への持参、郵便、FAX） ・町ホームページから提出（パブリック・コメント専用フォームへの入力）

##### (2) 実施結果と対応について

パブリック・コメントの実施結果の総括は以下のとおりです。

提出された意見に対する教育委員会の対応として、区分Aの意見に関しては、基本計画（案）に反映すべき内容であり、基本計画（案）における記載内容の修正、文言の追加を行います。区分Cの意見については、今後の設計段階において反映または参考の検討を行うものとします。

項 目	件数	区分			
		A	B	C	D
第1章 基本計画策定のこれまでの経緯					
01. これまでの経緯					
02. 基本計画の策定にあたって					
03. 鞍手町の紹介					
04. 計画策定にあたっての小学校の概要（令和3年度）					
第2章 統合小学校の概要と計画地の選定	17	1	9	3	4
01. 統合小学校の概要					
02. 計画候補地の選定					
03. 各計画候補地の比較と計画地の選定	17	1	9	3	4
第3章 計画地の概要					
01. 計画地の現状分析					
02. 計画地の造成等の方針					
03. 計画地の関係法令					
04. 統合小学校におけるスクールバスの運用計画					
第4章 基本計画	4			4	
01. 統合小学校のめざす方向性・計画コンセプト	2			2	
02. 統合小学校と付帯施設の計画諸要室及び計画規模の検討					
03. 動線計画と配置計画					
04. 平面及び断面の計画方針					
05. 構造計画の方針					
06. 設備計画の方針	1			1	

07. 環境配慮計画の方針	1			1	
08. 防災計画の方針					
09. 工事計画					
10. 廃校跡地活用の推進策					
第5章 事業予算・事業工程	3	1		2	
01. 事業予算	2	1		1	
02. 事業手法の検討					
03. 事業工程	1			1	
04. 基本設計に向けた課題点の整理					
その他	8		1	6	1
I. 基本計画（案）への総体意見	3		1	1	1
II. 基本計画（案）に記載されていないが関係性がある意見	2			2	
III. 基本計画（案）とは直接関係しない意見	3			3	
合 計	32	2	10	15	5

※区分の説明

A…意見を計画等に反映するもの

B…意見が既に反映されているもの

C…意見を今後の参考とするもの

D…意見を反映する見込みのないもの

### (3) 提出された意見と教育委員会の考え方について

パブリック・コメントで提出された意見と教育委員会の考え方は、以下のとおりです。

同一の意見者から提出された意見が多岐に渡る場合には、複数の項目に分けて掲載をしますが、その際に意見趣旨以外の文言を省く場合があります。

## ■第2章 統合小学校の概要と計画地の選定

### 03. 各計画候補地の比較と計画地の選定

No	提出された意見	教育委員会の考え方	区分
1	剣南小に賛成。 ①将来的に小中一貫校を目指して欲しい。 ②スクールバスの利便性がある。中学校と共用できる。	統合小学校の計画地の選定にあたっては、「鞍手中学校敷地」「剣南小学校敷地」「旧鞍手北中学校敷地」の3計画候補地を、敷地特性、計画面、工事面、コスト面、通学面の5つの指標で比較しました。	B
2	小学校統合は2校にと思っていましたが、すでに剣南小学校か旧鞍手北中学校跡にと教育委員会で出ますので…。私としては旧鞍手北中学校跡に統合を希望します。 理由＝敷地が充分広い。高台で大雨時安全。町のほぼ中央に有り徒歩通学の地域が多いのではないかと。旧校舎がリフォームで再使用できるのではないかと。	結果的に計画地として選定されなかった「鞍手中学校敷地」や「旧鞍手北中学校敷地」にも、「剣南小学校敷地」を含む他の計画候補地よりも優れている点があります。 「鞍手中学校敷地」であれば、中学校と同一敷地となることによる小中の連携面でのメリットやコスト面で優れていますし、「旧鞍手北中学校敷地」であれば、敷地面積が最も広くゆとりある計画が可能となる点や、工事中に児童生徒がいないことから安全に工事ができる点等があります。	D
3	南小に建設を希望します。あゆみこども園、小学校・中学校と子供への環境が近いと送迎なども楽で、学校行事や社会交流も行いやすいと思います。また、病院や交番、役場も近いと色々便利です。交通機関も整っています。すみやすい町、「鞍手」となり、益々の発展を期待しています。	一方で、統合小学校の計画地とした場合に課題となる点もあります。「鞍手中学校敷地」であれば、敷地が狭く校舎が5階建て以上に高層	B

4	<p>南小に建ててほしいです。なぜ北中跡地が候補にあがっているのかわかりません。私は子育ては終わっていますが孫の迎えでウロウロしてます。それが今後私のような方があっち行ったりこっちきたりするのかと思うと子育てがどんなに大変かと。今忙しい保護者が多いので少しでも楽にできないか。それに子育てしやすい場所であれば移住される方も増えるはず。少子化それだけで終わらせてはいけないと思います。子育てしやすい所には人が集まるはず。お金も有効に使ってほしいです。通学路も整備されている鞍手中学校の横にある南小に建ててください。小学校だけが遠くなるのは不便だしかわいそう！役場が北中跡地でよかったのでは！</p>	<p>化する点がありますし、「旧鞍手北中学校」であれば、坑道対策が必要になることや、これまで小学校の通学路として想定されていなかった道路の歩道整備等が必要な点等があります。</p> <p>鞍手町立小学校の統合に向けたあり方検討委員会（以下「検討委員会」とします。）で、3計画候補地を計画地に相応しいと思う方から順に◎○△で各委員（15人）に評価していただいた結果の集計をみると、◎の数は「鞍手中学校敷地」が4人、「剣南小学校敷地」と「旧鞍手北中学校敷地」はいずれも5人と拮抗した結果でしたが、△の数は「鞍手中学校敷地」と「旧鞍手北中学校敷地」は2人と顕著な差が生じました。（※下記を参照）</p>	B																
5	<p>南小に建設を希望します。このクラブチームは小学1年生～6年生までの子が通っています。それは保護者の送迎があつてのことです。今子供が少なくチームを守るのも大変です。でも地域に鞍手町には必要だと思っています。大人中心ではなく子供子育てのことを考えて小学校建ててほしいです。子育てされてる方は中学生、小学生をかかえてる方は多くクラブ活動も同じです。その送迎もそうですが学校に出向くとき遠く離れていると不便だろうと思います。少子化の今、若い方を呼びこむには子育てしやすい鞍手町にすることだと思えます。そうなればクラブチームももり上がり人口も増えていくのではと思います。私達もただ好きで指導してるわけではありません。子供たちのことを思えばこそです。町を盛り上げるため何が必要か！だと思います。小学校だけが遠く離れるのはおかしいです。そのために不要なお金を使う必要はないと思います。</p>	<p>※ 検討委員会計画候補地評価結果集計表</p> <table border="1" data-bbox="847 763 1343 891"> <thead> <tr> <th>計画候補地</th> <th>◎</th> <th>○</th> <th>△</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鞍手中学校</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>剣南小学校</td> <td>5人</td> <td>7人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>旧鞍手北中学校</td> <td>5人</td> <td>3人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 検討委員 15名による投票（1票は無効票）</p> <p>この結果は、統合小学校の計画地として、何を重要視するかは、検討委員会の委員においても意見が分かれましたが、懸念点が少ないという観点では、「剣南小学校敷地」が最も評価が高いという結果だと考えています。</p> <p>町長は、統合小学校の計画地として、敷地が広いという点を最も重要視されており、「旧鞍手北中学校敷地」が最適と考えておられました。このことは、検討委員会委員の集計結果で、◎の評価が分かれたことを踏まえると、驚くことではありません。</p> <p>こうした検討委員会の評価結果や鞍手町長の意見も踏まえ、教育委員会で慎重に協議しました。</p> <p>教育委員会では、小中連携等の教育面・スクールバスや通学路の整備状況を含めた通学面、コンパクトシティを目指す鞍手町としてのまちづくりの観点等を考えると、「剣南小学校敷地」が最も多くメリットがあり、最も懸念点が少ないと考えられるとして、教育委員の全員一致で、「剣南小学校敷地」を統合小学校の計画地として選定しました。</p> <p>統合小学校は、鞍手町の全ての児童が通うことになる鞍手町で唯一の小学校になります。計画地に関しては、様々な意見があることを認識した上で、一人でも多くの方が納得できる小学校となるよう整備を進めていきます。</p>	計画候補地	◎	○	△	鞍手中学校	4人	4人	6人	剣南小学校	5人	7人	2人	旧鞍手北中学校	5人	3人	6人	B
計画候補地	◎	○	△																
鞍手中学校	4人	4人	6人																
剣南小学校	5人	7人	2人																
旧鞍手北中学校	5人	3人	6人																
6	<p>中学校が1つで小学校も1つになるのなら、福智町のように義務教育学校にすればいいと思う。場所は今の鞍手中学校。そうすれば、子供たちは小学校6年間はこっち、中学校に上がったらあっちと場所が変わるよりいいと思う。保護者も楽になる。</p>		D																
7	<p>剣南小学校で良いと思います。先ざき、小中一貫にしてもらいたいと思う。教育委員会が決定された事を、なんで町長は受け入れられないのか不信感さえ感じます。他の市町村から笑われているのが判らないのでしょうか？庁舎の莫大な町のお金を使う事は許し、これからもっと町民が減っていき、高齢者ばかりの町になる現実を頭に置いて欲しい。</p>		B																
8	<p>3年も小学校の統合について話し合った委員会で剣南小学校が良いという結果が出たと聞きました。決定機関でないにしろ、そういう場を設けて話し合っていたので尊重すべきだと思います。北中跡地にすると予算が大幅に増えるのではないのでしょうか。そういう予算は他にあってほしいです。現在でも、修繕するところはいくらかもあるようです。3年間話し合っ、今更、町民の意見を募るのは違うんでは</p>	<p>統合小学校の校舎について、財政負担の軽減を図るためにも、既存の校舎を使用出来ないかのご意見があります。</p> <p>剣南小学校の現在の校舎は、昭和41年～昭和53年に建築されたもので、建築から45年ほど経過し、度々生じる不具合を修繕等しながら</p>	C																

	ないでしょうか？そんな事しても何も決まらないと思います。教育現場が分かった方々で話し合い決定するべきだと思います。	ら対応していますが、老朽化が顕著な状況となっています。 また、時代は令和となり学校施設を取り巻く状況も、昭和・平成の時代と様変わりしています。	
9	<p>児童数の減少により町内の6学校の全てが小規模との事で我々企業人の見方では、1学校何人の学生で1学校が成り立つか等の私立学校経営者のご意見が適格だと思います。現在6学校で1千以下か500人以下かなど全く判りませんが全ての学校が小規模ならば、経費の無駄使いと考えます、早く1学校にすべきと思います。また現在の小学校や中学跡地の利用出来ないかを考えましたら、これも無駄が多くてこの先経費が掛からない様にと考えてみました。</p> <p>新築先一現在の中学校の2つある運動場に建築で小中一体化が可能。メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動場が2つも不要で必要な時は町グラウンド有り。</li> <li>・運動場や体育館にプール等共有可能。プールが共有可能（水道、電気の節約）又は外部スミソグスクールに水泳時のみ委託で先生の時間軽減、水道、電気の節約が可能でバス送迎に専門コーチが居る。費用は掛かるが、教育と企業との共存共栄になる。</li> <li>・通学バスが共有できる。</li> <li>・古い給食センターも小中敷地に新築出来れば、車移送無しで衛生面でも良い。</li> <li>・先生や生徒との情報交換や既に小中一貫校は世の中動いていますからメリットは皆さんの方が理解されてると思います。</li> </ul>	<p>児童1人に1台のタブレット端末が配備され、教科書、ノート等の教材・教具を常時活用するための教室用機の天板の規格は、従前の60cm×40cmから、65cm×45cmと広がっています。また、タブレット端末の充電保管庫、デジタル教科書を使用するためのデジタル黒板の導入などにより、教室のスペースはさらに削られています。</p> <p>現在の剣南小学校の教室の面積は、昭和24年の建築基準法により示された鉄筋コンクリート造校舎の標準設計に基づき整備されており、7m×9mの63㎡となっています。</p> <p>1学級の児童数は、現在、40人から35人へと段階的に少人数化されており、児童数の点から考えると、以前よりも教室の面積に余裕が生じる方向へ向かっていますが、文部科学省が示す学校施設に関する検討結果を踏まえると、統合小学校の普通教室の面積は、最低でも70㎡以上は必要になると考えています。</p> <p>また、教室についてだけでなく、学校施設全体としても、教室と廊下それ以外の諸室で構成されているものという従来の固定観念から脱し、廊下も階段も校庭も、あらゆる空間が学びの場であり、教育の場、表現する場、心を育む場になるという未来思考の視点が必要とされています。</p>	D
10	<p>委員会で剣南小にて小学校の統合を行うと決定して意見がまとまったのでダラダラやらずに特急で進めてください。（庁舎移転計画時でも決断が遅く高騰してしまった）鞍手北中跡地に作りたいと言っている輩がいる様だが委員会での決定事項なので粛々と進めてください。</p>	<p>現校舎が老朽化している現状と、これからの新しい学校教育に対応できる統合小学校とするためにも、校舎、体育館等は新設する必要がありますと考えています。</p>	C
11	<p>鞍手町の台所事情を考慮すると少しでも安く小学校の統合を行うべきだと思う。剣南小学校の耐震工事も完了しているのでこのまま（大きな改造もやらなくて）使えると思う。</p>		B
12	<p>私が40年くらい前に剣南小に通っていた時は18クラス（3クラス×6学年）だったので今の校舎では少し不足していて4年生のみが旧校舎を使っていた。現在の小学生の人数から考えると各学年3クラスで対応できる。よって剣南小学校に統合を行う方が安価でやれる。旧校舎が問題となるならば木造で3クラス入る建物を作れば良いと思う。（北中跡地でやるならば建物が使えないので新築になってしまう。通学路の整備も必要になる。町の財源を考えると剣南小が良い。</p>		C
13	<p>「候補1」に賛成する。 1. 今後一層、一人ひとりを尊重する社会が進めば、行政に対する住民ニーズも多様・複雑化する。</p>		D

	<p>2. そのため、個々の行政サービスには一層の効率化が求められる。</p> <p>3. 都市でさえ、まちの構造をコンパクトに作り変えることを目指している（誘導に失敗した例もある（極めて困難な筈の誘導をしようとしたこと自体が失敗））状況で、鞍手町も、交通拠点（鞍手駅、鞍手インターチェンジ）、サービス拠点（役場、鞍手病院）が集積しつつある方向性を徹底して貫かなければならない。</p> <p>4. 敷地が狭隘である点は無視で出来ないと思うが、解決策も思い浮かぶのではないか。</p>	
14	<p>町立小学校の場所について 鞍手中学校内又は剣南小学校内 理由</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小中が一体となることが教育上良い</li> <li>2. 小、中の先生が交流することが生徒に良い</li> <li>3. 送迎（スクールバス）について都合が良い</li> <li>4. レベルを県内一にする為に同一場所が良い</li> <li>5. 教育のセンターとして同一の場所が望ましい</li> </ol>	B
15	<p>子供一人（高校生）の母です。 ・候補地について P16 候補1：鞍手中学校敷地 右側の小学校用敷地部分だけでグラウンドまで整備できるのであれば、候補1が理想だと思います。 但し、図のように中学校グラウンドの一部を小学校用として利用しなければいけないのであれば、候補2：剣南小学校敷地が良いと思います。あの中学校グラウンドは、サッカーと陸上で現在使用されており、サッカーに関しましては、大会などでも使用されています。 広いグラウンドと駐車場が完備されているため、大会等で使用されやすい環境だと思います。大会等試合で使用できる場合、周辺のゼンインレブンやお店にも人の流れができます。 お昼ご飯や飲み物などの購入などだけでも、鞍手町でお金を使って頂ける状況ができますので相乗効果につながっていると思います。 ただ、部活動の練習として使うだけのグラウンドになってしまうのは、勿体ないと感じます。広い視野をもって検討して頂きたいです。 なので図のままの敷地利用の場合、候補2：剣南小学校敷地が理想だと思います。子育て世代にとって、子どもの送迎負担は大きく縮めています。学校だけでなく、習い事も時間をかけている家庭も多くあります。子どもが二人三人という場合の負担を軽減することを考えてあげて、隣接した場所が理想だと思います。あそこには、保育園も隣接しています。学童もあります。歩いていける範囲に中学校まで揃います。行事が重なっても、移動しやすい環境だと思います。運動会などの行事ごとにも使用しやすい駐車場もありますし、P9 にあります「都市機能誘導」と考えても候補2：剣南小学校敷地が良いと思います。実際に通わせる親御さんの事、通う子供の事を考えて検討して頂きたいと思います。また、目の前のことだけでなく、視野を広げて検討して頂きたいと</p>	B

	<p>思います。「鞍手町に住みたい！鞍手町で子育てしたい！」と思ってもらえるような環境になることを望みます。どうぞ、よろしくお願い致します。</p>		
16	<p>鞍手町立小学校の統合に向けたあり方検討委員会の話し合いの結果は、令和3年8月31日の第1号から、令和5年3月29日の第14・15号まで「鞍手町立小学校のあり方検討だより」に丁寧に掲載されています。その結果、「剣南小学校が統合校建設地に最適」と結論づけられています。この結論は、とても重いものと思います。なぜなら、この検討委員会のメンバーが6小学校から集まった当事者だからです。この当事者が集まって、2年余りを費やして真剣に出した結論は重く受け取られるべきです。その切実な思いが「鞍手町立小学校のあり方検討だより」第14・15号に室木小学校の保護者の意見として掲載されています。この意見は、おそらく他の5校の保護者も同じだと思われます。この当事者の意見に真摯に耳を傾け、早急に作業を始めていただきたいとお願いします。</p>		
17	<p>まず、結論になりますが、一日も早い統合小学校の建設、開校を望みます。総合基本計画(案)にある剣南小学校への建設を望みます。元鞍手北中学校への建設は大反対です。岡崎町長の考える「夢のある学校」がどんなものかは分かりませんが、2年間という歳月の中で15回のあり方検討委員会で議論をつくして、総合教育会議でも議論を尽くして、教員委員会で「統合基本計画(案)」を作成したのに「教育委員会が勝手に決めたことだから」と町長が反対する理由が分かりませんし、町長にそんな権限があるとも思えません。</p> <p>鞍手町議会 令和5年第2回定例会 本会議(一般質問)で、田中二三輝議員と外園教育長とのやり取りで、統合小学校の開校は「最速で令和9年と考えていました。」という外園教育長との答弁がありました。岡崎町長の不同意のために令和9年4月に開校予定だった統合小学校の開校が遅れる事に我慢が出来ません。岡崎町長と栗田美和議員とのやりとりの中でも「現在の教育長は、私が議会で推薦をいたしまして議会の同意を得て、私が任命した教育長でもありますので、私のまだ説明不足の部分があるとは思いますが最終的には私と同じ方向を向いて進んでくれるものと思っております。」と答弁がありました。教育行政において町長は教育委員会並びに教育長にその権限を付託しているはずなのにこんな言葉が出る理由が分かりません。教育長並びに教育委員会と同じ方向を向くのは岡崎町長の方です。</p>	<p>令和4年12月から令和5年1月にかけて、総合教育会議を3度開催していただき、統合小学校の計画地について、町長と意見調整を図りました。</p> <p>町長は、子どもたちが喜んで行きたくなるような夢のある学校が造りたいとの強い思いがあり、それにはかなりのスペースが必要になるために、敷地面積の面で最もゆとりのある「旧鞍手北中学校敷地」が最適との意見でした。</p> <p>確かに敷地面積は「旧鞍手北中学校敷地」が最も広く、校舎等の設計の自由度は高いですが、その他の面を総合的に考えると「剣南小学校敷地」の方がメリットが大きい、ということを繰り返し町長に説明しましたが、町長もご自分の信念を持って、鞍手町のこと、子どもたちのことを考えれば「旧鞍手北中学校敷地」が最適との考えて、意見調整が出来ませんでした。</p> <p>そこで、法律に規定された教育委員会の責任と権限において、計画地を剣南小学校と決定して町長へ報告しました。</p> <p>町長は、「旧鞍手北中学校敷地」が最適との考えに今も変わりはないと思います。しかし、教育委員会に責任と権限があることなので、教育委員会の決定に町民が納得するのであれば、それで構わないと考えておられます。</p> <p>ご意見を受け、「(2)計画地の選定」の文章に、【町長は一貫して「旧鞍手北中学校」が計画地として最適との意見であったが、教育委員会の責任と権限において、計画地を「剣南小学校敷地」と決定した】という経過がわかる文章を追記します。</p>	A

## ■第4章 基本計画

### 01. 統合小学校のめざす方向性・計画コンセプト

No	提出された意見	教育委員会の考え方	区分
1	<p>今はハード面ばかりにフォーカスが当たっているように見えますが、ソフト面も重視して欲しいです。学校に行けない児童や生徒が増えている現在、そのような子どもが少しでも増えないような施策をもとめます。たとえ立派な校舎が出来たととしても、それが「夢のある学校（校舎）」でも学校に通えない子どもは通えないんです。また、子ども達の学力を上げるべく小中一貫校化を早く進めて欲しいです。直轄地区の中で東筑高校に通えるのは鞍手町に住民票がある子ども達だけです。教員に対して少々お金がかかっても良いです。何処かの学習塾の有名講師を招へいしてでも良いです。子ども達の学力向上を目指して下さい。子ども達が将来になりたい夢に対する選択肢を増やす事に尽力して欲しいです。所得の格差が学力の格差という言葉もあります。ある程度は仕方の無いことかもしれません。しかし、地域の差が学力の差とならないように外園教育長並びに鞍手町教育委員会には尽力して欲しいです。</p>	<p>令和3年度から附属機関として検討委員会を設置し、教育委員会としても統合が必要との判断に至りましたが、その過程でも検討委員会から、統合により集団が大きくなることから、大きな集団になじみにくい子どもへの配慮が必要との意見をいただいていた。</p> <p>統合小学校に関して言えば、統合前交流事業を実施して、統合前から児童の交流を図り、統合小学校へスムーズに適應できるよう進めていき、特別支援教室を余裕を持って配置することと併せて、普通教室へも個の特性への配慮を取入れる計画をしています。</p> <p>また、どうしても学校へ通うことが難しい状況の児童、生徒への対応として、令和5年度より、鞍手町中央公民館の1室を使用して、月曜日から金曜日まで、不登校傾向にある児童やその保護者が通い、学習や相談することが出来る鞍手町教育支援センターを開設しています。</p> <p>学力向上に関しては、小学校への英語や理科の専科教員の配置、複数担任制や徹底反復学習の導入・効果検証等の取組を進めています。</p>	C
2	<p>統合後の小学校が一挙に大規模校に、様変わりします。児童の生活や学びについて以下の点が気になります。</p> <p>① スクールバスでの登校手段に関すること。 ・スクールバスに乗り遅れた際の登校手段の確保（不登校状態を生まないためにも） ・下校後、放課後の遊びの成立と安全面の確保 子ども達の遊びのエリアの拡大が想定されます。安全対策が必要かと思えます。また、遊びの仲間に入れられない子ども等が出現しないかと懸念いたします。</p> <p>② 学校行事の円滑な運営と新小学校の学校文化の醸成 ・運動会・文化的行事等の大規模化に対する内容の充実を期待します。 ・現6小学校の学校文化を引き継ぐとともに、新小学校の、時代のニーズに応じたリアルな学校文化の醸成を期待します。併せて、PTA活動の無理のない活性化を期待します。</p> <p>③ 少人数かの環境から大規模集団への移行に関して ・事前の交流だけでなく、集団になじみにくい子どもへのアプローチ等、個別の配慮の必要性を感じます。</p> <p>④ 特別支援教育の充実 ・新学校の特別支援学級を5学級から8学級と想定していることによる特別支援教育の充実が期待できることですが、通常の学級に在籍する配慮が必要な児童へのアプローチを懸念しています。少人数学級では、配慮・対応できていたことが、大規模化により埋もれてしまわないかと懸念します。</p>	<p>先に統合した鞍手中学校で、すでにスクールバスを運行していますが、対象が中学1年生と小学1年生では、異なる対応が必要になると考えています。</p> <p>計画地が「剣南小学校敷地」となったことで、小中のスクールバスがほぼ同じルートを運行することが想定されます。先進自治体の取組も参考にしながら、様々な状況に対応できる体制の構築を進めます。</p> <p>現在の町内6小学校には、知識や技能の習得を目指す多種多様な取組や本物の体験学習を実現可能にする地域資源が豊富にあります。</p> <p>統合小学校では、これらの取組や地域資源を承継しつつ、旧小学校区を超えた取組や統合により児童数が増加することを活かした行事等を統合小学校へ設置する予定の学校運営協議会とも連携しながら、統合小学校としての取組、行事等の構築を目指します。</p>	C

## 06. 設備計画の方針

No	提出された意見	教育委員会の考え方	区分
1	建設予定地の理解は出来ましたが具体的な建物の構想が分からない。またデジタル化が日進月歩で進む現在どのような設備機器を備えた小学校を作るのか知りたい。	校舎や体育館等の具体的な構造や配置などは、基本計画の次の段階である、基本設計において検討します。 なお、ICT 関連機器については、GIGA スクール構想における高速大容量の通信ネットワークと児童1人1台の端末、端末を保管する充電保管庫に加えて、電子黒板を整備します。その他の機器については、基本設計において小学校と協議していきます。	C

## 07. 環境配慮計画の方針

No	提出された意見	教育委員会の考え方	区分
1	木造校舎に賛成。子供たちの教室環境のため、是非木造を希望する。	教育委員会としても、木材の持つ柔らかで温かみのある感触等が、子どもたちのストレスを緩和させる効果等があるものと考えています。 木造校舎に関しては、耐火性能の確保やコストの面での検討が必要になりますが、木質化については積極的に取り入れる計画です。	C

## ■第5章 事業予算・事業工程

### 01. 事業予算

No	提出された意見	教育委員会の考え方	区分
1	予算などを含め今後の具体的なスケジュールはどうなっているのか。町長と検討委員会との意見不一致など耳にするが、また病院の移転新設の時と同じ状況になっているように思えるが。私は現在役場を建設中ですが小学校統合の方が先ではなかったのかと思っている。もう少しスピード感とコスト意識をもって行政を進めてほしい。計画の進行が遅れることにより影響を受ける子供達のことを第一に考えて、早期の実現を希望する。(子供達に夢や希望を育む学校はどんな学校なのか、児童生徒の意見を聞いてみてはどうですか)	基本計画段階での建設費に関わる事業予算は、59 億円を見込んでおり、統合小学校の開校は、令和 10 年 4 月の予定です。 しかし、実際に統合小学校の開校に係る事業費は、建設費の他にも、設計費や施工監理費、備品購入費等がございます。 ご指摘を受け、基本計画段階で想定できる全ての事業費と、その財源及び鞍手町の実質負担額を基本計画書に記載することとします。 また、今後も少しでも鞍手町の実質的な負担額が軽減されるよう、国等の新たな財源の調査・研究を進めていきます。	A
2	今後の鞍手町が心配です。新築には費用が掛かります、国等からの援助金頂きましたも、返金しますお金有ります、役場の新築費用の増大、くらて病院の新築残金に赤字補填今後益々人口減少に伴いに高齢化社会 40%の 60 歳以上では借金の返却は可能ですか？公費の節約も併せてご検討願います。例えば町議の人数削減など。	統合小学校の建設費、設計費の一部、施工監理費などには、国や県の補助金等のほか、地方債の中でも特に有利な財源とされる過疎対策事業債の活用を見込んでいます。 この過疎対策事業債は、元利償還金の 7 割が地方交付税に算入されることから、町の実質的な負担は元利償還金の 3 割となります。 統合小学校に係る過疎対策事業債は、25 年間の償還を予定しているため、単年度の負担が大幅に増えることはありません。また、新庁舎等建設に係る元利償還金など新たに増加するものもありますが、過去に借入れた地方債の償還が終了するものもありますので、町全体の実質的な負担額は、大幅に増えることはないと思込んでいます。なお、くらて病院の新病院建設に係る地方債の償還については、くらて病院が負担しているため、町の負担はありません。	C

### 03. 事業工程

No	提出された意見	教育委員会の考え方	区分
1	開校が令和10年4月と決まっているのであれば、開校までの年次スケジュールも提案していただくと関係者の方々は見通しが立つのではないかと思います。	開校までの年次スケジュール等の詳細については、次の段階である基本設計において、お示しすることになります。	C

### ■その他

#### I. 基本計画（案）への総体意見

No	提出された意見	教育委員会の考え方	区分
1	小学校は統合になるのですか？何故いつも役員だの上の人が勝手に決めて町民に知らせるのですか？役場の移転の件もそうです！町民は納得してるのですか？何故もっと町民の意見を聞こうとしないのですか？なんでも税金でまかなうわけでしょ？もう少し町民の意見を聞いて決めてもいいじゃないですか？鞍手町をよくしたいならもっと議論するべきだと思う！	<p>統廃合を含め、小学校をどうしていくかという問題は、町民の皆様、とりわけ子育て世代の保護者の方にとっては、身近で、重要な課題であると考えています。可能であれば、興味、関心のある全ての町民の皆様とこの問題をどうすべきなのか、鞍手町の小学校の現状、学校規模の大小が子どもたちに与える影響など、どうしていくべきか判断するための様々な情報を共有し、議論していくことが理想的かもしれませんが、しかし現実的には、多くの町民の方々とこうしたプロセスを踏むことは困難です。だからといって、どうすべきか、その結論だけを町民の方から聴くことも、また、適切な方法ではないと考えました。</p> <p>そこで、幼稚園、保育所、認定こども園、小中学校に子どもを通わせておられる保護者の方を中心に、各小学校のPTA等へお願いして、代表の方を推薦いただき、検討委員会を組織する方法で、町民の皆様の声を聴くようにしました。</p>	C
2	何故今頃になってパブコメを町民に求めるのでしょうか。あり方検討委員会では、パブコメは、1月下旬～2月上旬に実施するように計画されていた。実施しなかったのは、その必要がなくなったからと捉えます。何故なら、このように実施するのが4ヶ月も遅れた理由も見当たりません。過去の「鞍手町立小学校の統合に向けたあり方検討委員会」の中でも「鞍手町立小学校のあり方検討便り」でも、いまの時期に実施するとならなかった。それをあえて今になって実施するのは、岡崎町長が統合計画（案）に同意していないからパブコメを実施するのですか。	<p>パブリック・コメントは、基本計画（案）を策定した段階で実施する予定で、令和4年度当初の時点では、ご指摘の通り、令和5年1月下旬～2月上旬に実施する計画でした。</p> <p>実施時期が遅れた理由は、町長と計画地に関して意見調整が出来ず、基本計画（案）の策定が遅れたためです。</p> <p>令和5年3月末の時点で、町長より「剣南小学校敷地」を計画地とした統合基本計画を策定することについて同意する旨が伝えられた為、基本計画（案）を策定し、現時点でのパブリック・コメントの実施に至りました。</p> <p>パブリック・コメントは、町長、教育委員会、選挙管理委員会等が、政策の企画立案過程において広く住民に意見を求め、住民の町政への積極的な参画を推進することを目的に行うもので、その対象の一つとして「個別行政分野における政策の基本方針その他基本的な事項を定める計画の策定」が規定されています。</p> <p>鞍手町立小学校統合基本計画（案）は、この対象要件に該当するため、パブリック・コメントを実施しました。</p>	D

3	<p>鞍手町立小学校統合基本計画(案)読ませていただきました。基本計画策定までの経緯・計画地の選定・計画地の概要等が丁寧にまとめられており、国が定める適正な規模の教育環境提供のため、小学校の統合が必要であることが理解できました。統合の規模、新小学校の建設場所、運動場、校舎等の施設設備・給食センター・放課後児童クラブ等の要件についても丁寧に検証した結果の計画案であると感じました。</p>	<p>統合が必要か、6小学校を維持するべきか、本当に最初の1歩から検討委員会の意見をうかがいながら、時間をかけて進めてきました。統合基本計画(案)では、統合小学校の開校を令和10年4月としています。統合基本計画が策定出来たら、開校時期が計画よりも遅れないことを大前提としつつも、今後も丁寧な検証・協議を継続し、統合小学校の開校に向けての取組を進めていきます。</p>	B
---	--	---	---

## II. 基本計画(案)に記載されていないが関係性がある意見

No	提出された意見	教育委員会の考え方	区分
1	<p>3月議会の一般質問議事録を拝見すると、町長は「総合計画の後期基本計画の教育部門についての考え方が非常に薄い」と発言している。首長として恥責、発言について考え方が薄いのは現岡崎町長の方だと思う。手順を踏んで小学校の統合を進めようとしているので委員会で決まった事を尊重して進めてください。</p>	<p>令和4年12月から令和5年1月にかけて、総合教育会議を3度開催していただき、統合小学校の計画地について、町長と意見調整を図りました。</p> <p>町長は、子どもたちが喜んで行きたくなくなるような夢のある学校が造りたいとの強い思いがあり、それにはかなりのスペースが必要になるために、敷地面積の面で最もゆとりのある「旧鞍手北中学校敷地」が最適との意見でした。</p>	C
2	<p>町長の判断について</p> <p>①町長の「子どもたちが喜んで行きたくなくなるような夢のある学校が造りたい」という考えは、とても素晴らしいと思います。おそらく、この考えに反対される方はいないのではないのでしょうか？だだ「子どもたちが喜んで行きたくなくなるような夢のある学校が造りたい」という考えは、先延ばしにする考えではなく今現在、全ての町民、特に学校関係者が今日から具体的に創り上げていくものです。今から行きたくなくなる学校・夢のある学校を創る努力をしていなければ、新しい学校になったとしても、夢のある学校など出来ません。</p> <p>昔、「新しい勉強部屋を造ってくれたら勉強が甘ばれる」と言っていた子がいたそうです。その結果、新しい勉強部屋を造ってもらったそうです。しかし、その子は以前と変わらず、全く勉強はしなかったそうです。人は、敷地面積で学ぶではありません。学ぼうとする意欲・やる気が大切です。その「やる気」を育てるのが学校です。統合をする・しないという大人の論理も大切ですが、最も大切なのは『何のため、誰のために学校があるのか』ということです。この事を今の学校関係者(児童・生徒も含む)が本気で考えないと統合しても町長の「子どもたちが喜んで行きたくなくなるような夢のある学校」にはならないと思います。統合すれば人数は増えますが、夢は膨らむとは限りません。「ローマは一日にして成らず」と言います。人数に関係なく一人一人が「行きたくなくなる学校・夢を語れる学校」を今から意識的に目指していくべきだと思います。そうしなければ、せっかく統合しても20年後には、統合小学校は廃校になるかも知れません。</p> <p>②町長へのお願い</p>	<p>確かに敷地面積は「旧鞍手北中学校敷地」が最も広く、校舎等の設計の自由度は高いですが、その他の面を総合的に考えると「剣南小学校敷地」の方がメリットが大きい、ということを繰り返し町長に説明しましたが、町長もご自分の信念を持って、鞍手町のこと、子どもたちのことを考えれば「旧鞍手北中学校敷地」が最適との考えで、意見調整が出来ませんでした。</p> <p>そこで、法律に規定された教育委員会の責任と権限において、計画地を剣南小学校と決定して町長へ報告しました。</p> <p>町長は、「旧鞍手北中学校敷地」が最適との考えに今も変わりはないと思います。しかし、教育委員会に責任と権限があることなので、教育委員会の決定に町民が納得するのであれば、それで構わないと考えておられます。</p> <p>小学校統合が遅れることで、不利益を被るのは、子どもたちとその保護者の方です。そして複式学級を編成せざるを得ないなど、学校運営上の課題に対応しなければならなくなる教職員にも困難が生じます。</p> <p>教育委員会としては、統合小学校が、「子どもたちが喜んで行きたくなくなるような夢のある学校」になるよう、町長との協議も続けながら統合小学校の開校に向けての取組を着実に進めていきたいと考えています。</p>	C

	<p>町長の仕事は「決断すること」だと思います。しかし、決断と独断は違います。「責任のある決断」をするためには、データが必要です。そのデータが今回は「検討委員会の結論」だと思います。どうか、この貴重な結論に耳を傾けていただけたらと願っております。町長の任期は4年です。任期の「任」は、責任の「任」。住民は選挙を通して町長に『4年間任せ、未来をつくってくれ』と願っています。どうか住民（とりわけ今回は検討委員会の結論）の声に早急に答えていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>		
--	---	--	--

### Ⅲ. 基本計画（案）とは直接関係しない意見

No	提出された意見	教育委員会の考え方	区分
1	<p>岡崎町長が箱物建設に関わるとろくな事はありません。何故なら、くらで病院は別の場所に建設したいと言ったが、結局元の計画通りの場所に建設、遅れただけの結果。役場の新庁舎も別の場所が良いと言って結局元の計画の場所、遅れただけならまだしも、設計変更して補正予算9億円以上を積み増して建設。今回の町内6小学校の統廃合問題も町長に別の案（元鞍手北中学校）があるからと頓挫。</p>	<p>小学校の適正配置に関する検討は、現町長の強い思いがあり、就任以後に始まった事業です。このことは教育環境の整備に繋がり、感謝しています。</p> <p>町長は、「旧鞍手北中学校敷地」が最適との考えに今も変わりはないと思います。しかし、教育委員会に責任と権限があることなので、教育委員会の決定に町民が納得するのであれば、それで構わないと考えておられます。</p>	C
2	<p>鞍手町の一般会計が106億!!周辺市町村と比較すると規模が大きすぎる。</p>	<p>鞍手町では、新庁舎の建設工事が本格的に始まることから、その予算を令和5年度当初予算に計上しました。そのため、令和5年度の一般会計の当初予算総額は106億円となり、前年度と比較して16.2%増加しました。しかしながら、このような投資的経費は必要な年度にしか計上しませんので、予算総額が一時的に増加したものです。</p>	C
3	<p>例えば、小学校統合について、今回のようなスキームで検討出来ているのは、鞍手町が独立した自治体であるからであり、近隣の他の自治体と合併していたら、と思うとゾッとする。仮に、鞍手町単独でのサービス維持（≒財政運営）が困難な状況になったとしても、合併だけが選択肢ではない。</p>	<p>小学校統合の取組の中で、検討委員会や、本パブリック・コメントを含め、多くの人から「鞍手町に住みたい。」「鞍手町で子育てしたい。」と思える環境にして欲しいとの意見を多くいただきます。</p> <p>鞍手町が独立した自治体であり続けるためにも、統合される小学校を含む、教育環境が魅力あるものになることが重要です。このことを再認識して今後の取組を進めていきます。</p>	C

## 第 2 章 統合小学校の概要と計画地の選定

	鞍手中学校敷地	剣南小学校敷地	旧鞍手北中学校敷地
<b>3 工事面の評価</b>			
工事車両動線	既存出入口を利用 (中学校動線と区画) △	既存出入口を利用 (小学校動線と区画) △	既存出入口を利用 (周辺道路が狭小) △
工事中の安全性	既存中学校との間に 安全区画が必要 △	既存小学校との間に 安全区画が必要 △	利用施設がないため 安全区画が不要 ○
工期の調整	既存施設解体時期の 調整が必要 △	綿密な建替計画と工期 を要する △	既存施設との兼ね合 いがいいため容易 ○
工事面総合評価	敷地内に中学校が あるが比較的安全に 工事エリアと区分可 △	最も工期が長く代替 機能確保、安全管理 などの課題が多い △	地内に利用施設が ないため最も工事が 行いやすい ○
<b>4 コスト面の評価※金額は推定</b>			
整備費	5,600,000,000 円	5,900,000,000 円	6,200,000,000 円
補助金等	3,900,000,000 円	3,900,000,000 円	4,200,000,000 円
鞍手町実質負担額	1,700,000,000 円	2,000,000,000 円	2,000,000,000 円
コスト面総合評価	○	△	△
<b>5 通学面の評価</b>			
通学路の整備	鞍手中学校、剣南 小学校、剣北小学校 の通学路として 大部分が整備済 ○	鞍手中学校、剣南 小学校、剣北小学校 の通学路として 大部分が整備済 ○	現在、通学路として 想定されていない 区間(古月・新延小 →統合小)の大規模 な整備が必要(用地 買収による歩道設 置・拡幅) △
スクールバスの運行	鞍手中学校の スクールバスと同様 の運行ルートとなる ○	鞍手中学校の スクールバスと同様 の運行ルートとなる ○	鞍手中学校の スクールバスと 異なる運行ルートと なり、剣南小校区へ の運行も必要 △
通学面総合評価	剣北小⇔剣南小校区 境界部分の通学路 整備とスクールバス の運行で通学可能 ○	剣北小⇔剣南小校区 境界部分の通学路整備と スクールバスの運行で 通学可能 ○	通学路として県道を含 めた大幅な整備が 必要で費用と整備 期間が必要 △

## ■3 計画候補地の比較

## (2) 計画地の選定

3 計画候補地の比較をもとに、検討委員会で議論を重ねましたが、3 計画候補地ともに一長一短があり、検討委員会として計画地を 1 か所に絞り込むことは難しい状況となりました。そこで検討委員会では、各委員が 3 計画候補地を◎○△で評価した結果と、3 計画候補地の評価する点や懸念点を集約し、教育委員会へ提言することとしました。

教育委員会では、これからの時代に求められる学校教育を実現し鞍手町を担う子どもたちを安全に育むことを最優先とし、鞍手町教育大綱等に示された町の方針や総合教育会議における町長の意見、検討委員会からの提言を踏まえて検討しました。

その中で町長の意見としては、旧鞍手北中学校敷地が子どもたちに夢のある小学校を造るために最適との考えで一貫していましたが、教育委員会としては、小中連携等の教育面・スクールバスや通学路の整備状況を含めた通学面・コンパクトシティを目指す鞍手町としてのまちづくりの観点等を考えると剣南小学校敷地が最適であるとの結論に全会一致で達したため、教育委員会の責任と権限に基づき、剣南小学校敷地を計画地に選定しました。

## 6：体育館

以下の方針に加え、校舎と体育館の一棟化と別棟化の両面を視野に、配置やゾーニングを検討します。

### ●屋内運動場

ミニバスケットコート2面を確保できるスペースを確保する。アリーナ前には共用部を兼ねた滞留スペースを設ける。上部にはキャットウォークを設ける。

### ●ステージ

ステージ上部には美術バトンを2～3程度設置できる奥行を設けるとともに、ステージ下部に椅子を収納できるよう計画する。またステージ両脇からキャットウォークに往来できる階段を設置する。

## 7：プール

以下の方針に加え、プールの単独設置または、校舎上部への設置を検討します。

### ●プール

8レーン程度の広さを確保するとともに、児童が滞留できる広さのプールサイドを設置する。授業時のプライバシーに配慮した配置とする。

### ●更衣室など

1学年分の男女別の広さを確保するとともに、近くにトイレの設置を検討する。またシャワースペースをプール内あるいはプールと隣接させて配置する。

## 8：給食調理場

校舎と給食室は一棟、別棟どちらでも可とするが、小学校及び鞍手中学校への搬出入の利便性を最大限考慮したゾーニングとします。トラックヤード付きの搬出口を設けるとともに、トラックの車路は児童の生活動線と可能な限り分離したゾーニングとします。自校炊飯を実施することとし、提供数に応じた広さの調理室や検収、洗い場を設けるとともに、職員の更衣室や休憩室等を適宜計画します。また、食育の一環として、児童が調理過程を見学できる構造とします。

## 9：放課後児童クラブ

保護者の送迎に配慮した配置にするとともに、校舎とは別の専用出入口を設けます。計画に応じて敷地内で別棟、一棟どちらでも可とします。**感染症等の感染防止措置もとれる静養スペースを整備します。**

04-09 工事計画

(1) 建替の方針

統合小学校建設にあたっては、既存の剣南小学校の利用エリアと工事エリアを明確に区分し、十分に安全面に配慮した上で行うことになります。



■ 建替にあたる方針

(2) 近隣施設及び地域住民への配慮

当該敷地は、鞍手あゆみこども園や裏田団地などの住宅地に隣接しています。工事計画の策定にあたっては、近隣施設の運営状況を踏まえ、工種や施工時間帯等を検討し、建設工事による騒音や振動等により、近隣施設及び地域住民へ与える影響が最小限となるよう配慮します。

05-01 事業予算

統合小学校の建設にあたり、必要となる概算費用は67.9億円(税込)を想定します。なお建設に係る造成工事や解体時のアスベスト除去費用については、基本設計中に精査するものとし、上記金額には含みません。

財源については、公立学校施設整備費負担金、学校施設環境改善交付金及び過疎対策事業債を主としますが、今後も国庫補助の対象要件等に関する調査・研究を継続して行い、できる限り実質的な負担額を抑制していくこととします。

単位：千円

区分	概算事業費	財源内訳	
		補助金・ 交付税算入分	実質的な負担分
調査・設計関係	567,603	395,038	172,565
調査費（基本計画、発注者支援等）	90,365	41,726	48,639
設計費（基本・実施設計・工事監理等）	477,238	353,312	123,926
工事費	5,899,850	3,881,626	2,018,224
造成工事費			
解体工事費	162,800	0	162,800
建築費（校舎エリア）	4,050,090	2,970,305	1,079,785
建築費（体育館エリア）	466,730	345,113	121,617
建築費（プールエリア）	165,000	115,500	49,500
建築費（給食調理場エリア）	350,020	290,441	59,579
建築費（放課後児童クラブエリア）	261,030	77,492	183,538
外構工事費	444,180	82,775	361,405
関連費用	325,280	52,920	272,360
スクールバス	84,000	52,920	31,080
ICT関連備品	109,494	0	109,494
その他備品・引っ越し	131,786	0	131,786
合計	6,792,732	4,329,584	2,463,148
	構成割合	63.7%	36.3%



令和5年6月 日

鞍手町教育委員会

教育長 外園 哲也 殿

鞍手町立小学校の統合に向けたあり方検討委員会

会 長

鞍手町立小学校の統合に向けたあり方検討委員会から  
鞍手町教育委員会への最終提言

鞍手町立小学校統合基本計画（案）及び今後の小学校統合に向けての取組に対し、  
下記のとおり提言します。

### 記

鞍手町立小学校統合基本計画（案）については、当検討委員会からのこれまでの提言  
を踏まえ、貴教育委員会において十分に検討された上で策定されており、適切な内容で  
あると考えます。

小規模校の子どもたちへの影響、複式学級のある学校の教職員の負担や保護者の不安、  
老朽化した校舎で学校生活を送っている子どもたちのことを考えると、統合小学校の開  
校は1日も早く、というのが当検討委員会の願いです。

令和10年4月とされている統合小学校の開校予定が遅れることの無いよう、教育委  
員会と町長がしっかりと足並みをそろえ、子どもたちのために最善を尽くしてください。

また、統合前の小学校で学校生活を送り、統合小学校へ通うことなく卒業を向かえる  
子どもたちのためにも、教育環境の水準がハード・ソフトの両面で、現時点を維持もし  
くは向上するように努めてください。